

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870105636
法人名	有限会社 公昌会
事業所名	グループホーム ひめやまの里
所在地	愛媛県松山市山越3丁目6番15号
自己評価作成日	平成21年9月20日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>・何よりも『私の家族だったら!』と、強い気持ちを持ちながら支援に取り組んでいます。</p> <p>・一人ひとりに作成しているケアプランに沿って満足していただけるようなケアに取り組んでいます。</p> <p>・正面には病院があるため、緊急時は早急に対応できるような体制がとれており安心して生活していただけます。</p> <p>・交通の便が良く家族がホームへ立ち寄りやすい。又近くにはスーパーが多くあり買い物しやすい環境です。</p>
--

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年10月23日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>運営推進会議は、事業所の居間で開催されており、参加者に利用者の様子を見てもらって活動をより理解していただけるよう取り組まれている。又、消防訓練や外部評価の結果報告等もされている。地域の参加者からは地域行事等を教えていただき、地域の夏祭りに行かれることもある。地域の代表者の方から、会議への他の参加者を紹介していただき、地域から新しいメンバーが増えてきている。</p> <p>居間に面したトイレは、内にカーテンを付けてプライバシーに配慮されている。食事時は、車椅子から椅子に移り食事できるよう支援されており、ゆっくりとご本人のペースで食事をされている様子がうかがえた。職員の利用者への呼び方や言葉かけについて、気になる場面があれば、管理者がその都度、職員と話し合いをされている。</p>
---

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. <b>毎日ある</b> 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. <b>利用者の1/3くらい</b> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		1. ほぼ全ての家族と 2. <b>家族の2/3くらい</b> 3. 家族の1/3くらい 4. ほとんどできていない

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム ひめやまの里

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)

氏名 森 涼子

評価完了日 平成21年 9月 20日

# 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 母体である病院と協力し、入居者が家と同じように又その人らしく生活して頂けるよう考えている。3つの理念を掲げリビング内、玄関等目につく所に掲示している。 理念にそえるよう日々業務にあたっている。	
			(外部評価) 「基本的な人権の保護」「家庭的な生活」「生きがいのある生活」を理念に掲げて、日常生活の中でその人のできることを見出して支援することに努めておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域の方々にホーム行事に参加して頂いたり、外出時にはあいさつをかわしたり、お庭の花を見せていただいたりと、よい関係作りに努めている。	
			(外部評価) 事業所で地域の小学生の母親による「姫山コーラス」のミニコンサートを行い交流された。事業所の夏祭りやクリスマス・忘年会等には、地域の人をお招きして一緒に楽しまれている。「在宅介護」や「認知症のこと」等の相談も受け、アドバイスされている。10月末に講師を招いて認知症の講座を開く予定を立てておられた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 年間行事や防災、救急訓練などへ参加して頂き、ホームの特徴等を理解して頂けるようにしている。又相談等があれば対応している。まだまだ近隣の方との交流が少ない為、機会を増やしていきたい。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取り組み                      運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)                      運営推進会議を定期的開催している。(1回/2ヶ月)地域の方や市役所、入居者家族に日頃の状況を報告し、その都度テーマを決め取り組んでいる。参加して頂いた方からの意見は報告しサービス向上や改善につなげている。案内を出してはいるが包括支援センターからの返事、参加がない為電話等でも参加を促していきたい。</p> <p>(外部評価)                      運営推進会議は、事業所の居間で開催されており、参加者に利用者の様子を見てもらって活動をより理解していただけるよう取り組まれている。又、消防訓練や外部評価の結果報告等もされている。地域の参加者からは地域行事等を教えていただき、地域の夏祭りに行かれることもある。地域の代表者の方から、会議への他の参加者を紹介していただき、地域から新しいメンバーが増えてきている。</p>	
5	4	<p>市町村との連携                      市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組を積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)                      行事や会議に参加して頂いたり又不明な点はその都度電話で相談している。</p> <p>(外部評価)                      市の担当者が、夏祭り等に来てくださることもある。介護保険制度について教えていただいたり、生活保護受給者の生活についての相談されている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践                      代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)                      身体拘束をしないケアに取り組んでいる。スタッフ間で事故防止に向け試行錯誤をし、日々努力をしている。家族様の強い希望でベッド柵2本使用している方がいるも同意書をいただき、毎日拘束に対しての記録を残し家族に承諾印をもらっている。</p> <p>(外部評価)                      事業所は建物の2、3階部分にある。事業所の出入り口は鍵をかけていない。ユニットによって、利用者の状態等のこともあり、安全のためにベット柵を使用している方がいるが、管理者は、職員に「ベット柵をすることは拘束に当たる」ことを説明しておられる。</p>	<p>現在のところ、職員が身体拘束の勉強をする機会は少ないようである。管理者は、今後、内部研修等で勉強を重ねて正しく理解し、身体拘束をしないケアを実践していきたいと話しておられた。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  身体、言葉、態度など虐待防止に向け職員間で注意し合い、研修にも積極的に参加している。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  成年後見制度の資料を職員に配布し、勉強会をしているもまだまだ理解不足である。又制度について家族より質問があれば資料を準備しており管理者が説明している。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  家族へ十分時間をかけ説明、理解して頂けるようにしている。疑問点があればその都度説明している。改正等の際はお手紙と掲示等で知らせている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  面会時、手紙、電話等で家族からの意向の収集を行い個人にあった援助をしている。又契約時に公的機関への苦情窓口がある事を伝えている。  (外部評価)  事業所では、ご家族の気にかかるような情報もお伝えできるよう配慮されている。「食事量や血圧や脈拍、体温等の健康チェック表」等、ご家族の希望に応じて毎月送付されている。職員の入れ替わりについては、ご家族来訪時に報告されたり、年の始めに発行する「ひめやま新聞」で職員紹介をされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			月に一回の職員会議などで意見交換又は提案をする機会がある。	
			(外部評価)	
			事業所では職員の勤務の環境を整えるために「仕事のやりがい・勤務状態・体はきついか・給料等について」職員にアンケートをとり、職員体制等の検討をして、改善されている。忘年会等には、法人代表者も参加されている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			出来る限り職員の希望は取り入れている。就業規則の作成や健康診断を実施し、体調管理には十分な注意を払っている。又長期休暇がとれるようにしたり有給も消化出来るよう努めている。スタッフ全員にアンケートをとり、よりよい環境作りに努めている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			研修予定日の情報を仕入れ、順番に職員が参加できるよう勤務調整し、職員の質の向上に努めている。又外部から講師を招き勉強会を定期的で開催している。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			研修等で知り合う同業者との関係を大切にし、意見交換をしている。又同じ地域のホームの方達と意見交換をする機会を設けてホームの見学なども行っている。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			入居前には、本人・家族とお会いし、事前面接で時間をかけ多くの情報・思いを聞いている。入居後、安心して生活していただけるよう職員間で情報を共有している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 事前調査で時間をかけお話を聞くようにしている。深く立ち入らない程度に家族環境をお伺いし、介護についての要望、不安や困っている事を聞き理解するように努めている。本人と、家族、ホームとの関係作りを心がけている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居の際ホームの見学をしていただき、本人の意向と、家族の意向を聴取している。必要としている支援をくみとれるよう努力している。必要に応じて他の事業所と連絡をとっている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 本人の暮らしを一番に考え安心して暮らせる場を提供するよう努力している。生活を共にする者同士信頼関係が出来るように職員が配慮している。自分達を入居者の立場におきかえ自分ならどうしてほしいか考えながら行動するように心がけている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時や電話を使用する際などに入居者さんの状況を説明したりしている。又以前在宅で生活していた時の様子なども教えていただいたりしている。レクリエーション、行事などに参加していただき、本人、家族とのふれあいができるように努めている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 時節に応じて絵手紙や電話でコミュニケーションをとっている。いつでも交流できるように面会時間の制限を設けていない。 (外部評価) 利用者は近所から入居されている方が多く、顔なじみの人がよく訪ねてくれる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 入居者同士の雑談やレクリエーション等、一緒に何かをする時間を毎日設けている。楽しみをもてるよう声かけをしている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) サービス利用が終了してもこれまでの関係を大切に本人や家族の経過フォローをし支援が出来るように努めている。サービス終了後でも何か相談があればフォローし相談できるように努めている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 一人ひとり考え方や思いは違う為、なるべく希望に副えるような支援に努めている。一人ひとりと向き合い気持ちを聴きその人の希望を把握し実現できるように努めている。普段の会話ではしっかりと耳を傾け本人が言っている事に対応している。  職員は、日々の暮らしの中で新たに気付いたことや利用者のできること等を個々の介護記録に書き留めて、支援につなげられるよう話し合われている。センター方式の書式を用いて情報も収集されている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 事前調査や家族からの情報をもとに細かい部分まで把握するように努めている。本人との会話の中からこれまでの暮らしや覚えている事を聞き、把握に努めている。すべて理解しているわけではないが本人、家族に聞き一人ひとりが安心して暮らせるように努力している。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 毎日の申し送り等で一人ひとりの健康状態等を把握している。レクリエーションなど一日を楽しく過ごせるように努めている。毎日バイタルチェックを行い、本人の気持ちをよく聴くなどして把握に努めている。出来る事はして頂くようにしている。	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人、家族の意向を聞き、主治医とも相談しながらカンファレンスを開いて意見を出しあったりしている。3ヶ月毎にモニタリングをし介護計画の見直しも行っている。現状に即した介護計画を作成出来るよう心がけている。</p> <p>ご本人、ご家族の希望や要望等を聞き取り、職員で話し合っって介護計画を作成されている。介護計画の具体的な内容がご家族が見てわかりやすいよう、個別のケア記録の工夫をされている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個別にファイルを用意してその中にはケアプランがはさめるようになっていて、誰が見ても分かるよう個別記録に記入することにしている。特に普段と様子が違う時は細かな情報まで記録し、ケアの実践を行っている。職員間で情報を共有しているので、介護計画見直しにも活かしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>医療連携体制にて異常時の早期発見・対応ができるようにしている。又家族の同意を得て異常時に迅速に処置ができるよう前もって既往歴等、看護師にも知らせている。協力医療機関にはリハビリに通っている方もおられる。本人や家族の要望にはその都度対応し、ニーズに応えるように取り組んでいる。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>合唱グループの方(小学校の保護者)に来ていただき、歌を聴いたり一緒に歌ったりされた事は大変楽しんでおられたので今後も他の地域資源を活用できるようにしたい。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	(自己評価)	
			<p>本人と家族の希望のかかりつけ医と連携をとりあい、 日頃の状態や訴えを定期受診時に医師に伝える。又受 診以外でも往診や電話での相談、説明にも応じていた だき支援している。</p>	
			(外部評価)	
			<p>受診時には職員が同行されている。眼科や耳鼻科等の 専門医を受診される時には、ご家族が付き添われてい る。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	(自己評価)	
			<p>日頃の気になることを看護師に伝えどのように処置し たらよいか等を皆で共有し、同じように対応できるよ う支援している。</p>	
			(外部評価)	
			<p>入居前は家族の同意を得て、既往歴等必要な情報を病 院側に伝えている。又情報提供書等を交換したり入院 中の経過なども病院関係者と共有し、本人とも適宜面 会している。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	(自己評価)	
			<p>入居前は家族の同意を得て、既往歴等必要な情報を病 院側に伝えている。又情報提供書等を交換したり入院 中の経過なども病院関係者と共有し、本人とも適宜面 会している。</p>	
			(外部評価)	
			<p>入居時、看取りについてアンケートを取っておられる が、「その時にならないとわからない」と答えられる 方も多い。ご本人の状態変化時等には、その都度、医 師・ご家族等と話し合いながら今後のことについて決 めておられる。ご家族が食事時の介助に協力してくだ さることもある。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>本人、家族の意向を何度も確認し、医師と相談の上ど こで終末を過ごすか決定しスタッフ全員で取り組んで いる。又予測される状況に対応できるよう日頃から連 絡方法や処置について確認している。</p>	
			(外部評価)	
			<p>入居時、看取りについてアンケートを取っておられる が、「その時にならないとわからない」と答えられる 方も多い。ご本人の状態変化時等には、その都度、医 師・ご家族等と話し合いながら今後のことについて決 めておられる。ご家族が食事時の介助に協力してくだ さることもある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 事故発生時対応マニュアルを作成(病院・医師・看護師)へ連絡が繋がる様になっている。又消防署の方による応急手当の研修や勉強会にも積極的に参加している。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 定期的に防災訓練を実施している。地域の方も参加され、電話のかけ方や消火器の使い方消防署の方の指導を受けている。夜間を想定した避難訓練もおこなっている。	
			(外部評価) 避難訓練時、消防署の方より避難誘導をする際の優先順位等について助言をいただいた。階段には防火扉が設置してある。	今後、消防署の方からの助言を踏まえて避難訓練を実施したいと考えておられる。又、事業所は建物の条件、車椅子を利用していらっしゃる方もいるというような、現在の状況を踏まえて、今後も利用者、職員の安全と安心に向けた取り組みを重ねていかれてほしい。
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 一人ひとりそれぞれ個性があるということを強く思いながらその人にあった生活習慣や希望など傾聴し自尊心を傷つけないよう、言葉かけをおこなっている。時と場合により言葉遣いを考えている。	
			(外部評価) 居間に面したトイレは、内にカーテンを付けてプライバシーに配慮されている。食事時は、車椅子から椅子に移り食事できるよう支援されており、ゆっくりとご本人のペースで食事をされている様子がうかがえた。職員の利用者への呼び方や言葉かけについて、気になる場面があれば、管理者がその都度、職員と話し合いをされている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 本人にしたいことの意味を確認したり、選択肢の中から選べるよう配慮している。思いや希望をうまく表せない方には興味のあるような事を提案したりする。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 入居者のその日の体調も考慮し、ペースに合わせ、出来るだけ希望を聞き入れる支援をしている。またその人のケアプランに沿った支援をしている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 着たい服を選んで着られる方もおられるが、着過ぎ等には注意を払っている。髪留めの好きな方には毎日つけていただいている。常に清潔を心がけ支援している。又訪問理美容を利用し散髪もしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) ミキサー食や刻み食等その人に合った食事を用意し楽しい話題を中心に談話をしながら職員も一緒に食事をしている。下膳、テーブル拭き、食器拭きを職員と一緒にされる方もおられる。 (外部評価) 毎日、食材が届くようになっており、事業所で食事作りをされている。調理担当の職員がおり、届く食材で利用者と相談してメニューに工夫されている。調査訪問時には職員と利用者が一緒に、届いた食材を一つ一つ確認しながら「何が出来るかね」と相談されていた。「昼食バイキング」や「おやつバイキング」等、事業所で手作りして個々がお好きなものを選んで食べられるような日を設け、利用者に喜ばれている。寿司職人来ていただき、事業所で寿司を握ってもらうことも予定されていた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) その人の状態に合わせて、主食の量を調整し、副食もミキサー食や刻み食等対応している。糖尿の方はカロリーを注意したりしている。水分は食事時の他に、10時、15時、入浴後等しっかりとっていただいている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアを行っている。歯ブラシを上手に出来ない方は職員が仕上げ磨きを行っている。スポンジブラシを使う方もいてその人にあったケアをしている。歯科往診で対応することもある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄パターン把握の為、排泄チェック表を作り時間帯など、それぞれの入居者に合わせて対応している。排泄時間を声かけし、オムツ使用の入居者は定期的にトイレ誘導し排泄してもらえるように実施している。又トイレの場所が分かるように張り紙をしている。夜間はトイレまで歩く事が困難な方にはポータブルトイレを設置している。	
			(外部評価) 利用者個々の排泄パターンに沿って、声かけ誘導されている。職員は、排泄介助時、衣類の上げ下げのみサポートする等ご本人のできることは、ご自分で行えるよう見守るようにされている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 毎日牛乳や乳製品等を取り入れている。食物繊維を多めに摂取してもらうように家族の協力もしていただいている。薬の副作用などで便秘が考えられる場合も水分の摂り方や運動(腹部マッサージ)で改善できるように努力している。	
			(外部評価)	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 個人の体調に合わせてたり、シャワー浴、足浴などもその時に合わせて行っている。ゆっくり入浴できるようマンツーマンでコミュニケーションをとりながら支援している。安全の為に手すりや滑り止めマットを使用したり、機械浴が必要な方は使用している。	
			(外部評価) ボディソープやシャンプー等、利用者個々の好みや皮膚の状態により使い分けておられる。1階デイサービスには車椅子のまま入浴できる特別浴槽があり、利用されている方もある。入浴を嫌がる方には、タイミングをみたり職員が替わって声を掛ける等、入浴できるよう取り組まれている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 好きな音楽やラジオを聴いたり、テレビを観たりして、リビング、居室でもくつろげる環境作りをしている。愛用の寝具を使用していつでも休息できるようになっている。又リビングにソファがあり誰でも休めるようになっている。居室の温度・換気にも注意している。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) いつでも薬の内容、副作用など確認できるよう個人ファイルなどに閉じている。薬の目的や副作用について理解し服薬間違いがないよう確認など服薬の支援に努めている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの生活歴や力を活かした役割については出来ていないが出来る役割はして頂くよう支援している。体操の声かけや励まし、楽しい話題作りに努めている。本人の役割や力が活かせるよう職員が本人を理解し支援していけるように努める。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 戸外に出かけたい時は職員と一緒に散歩に行ったり、レクリエーションでの外出では家族にも参加して頂くよう呼びかけ交流をしている。本人の体調なども考慮しなるべく希望に副えるように努力し家族にも協力していただけるよう支援している。	
			(外部評価) 職員は、利用者と買い物やゴミ出しに行かれたり、受診時に、ちょっとお散歩される方もある。季節のお花見や希望を聞きながら回転寿司等の外食にも出かけておられる。 事業所では、利用者の身体レベルに合わせて、近く・遠く等の希望を聞きながら外出の計画を立て出かけることを検討されていた。さらに、利用者個々の懐かしい場所等に出かけてみるような個別の支援にも取り組んでみてはどうだろうか。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 近所のスーパーへスタッフと一緒に買い物へ行って、欲しい物を買われる。その時支払いはスタッフが入居者と一緒におこなっている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話をしたいという希望があればこちらで取り次ぎ、本人と代わり話をして頂くように支援している。手紙などを出して欲しいと希望があればポストに投函している。又手紙が書けるよう葉書の購入などの支援もしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>季節の花を花瓶に生けたり、ベランダのプランターに花を植えたりしている。毎月、季節感を出した作品と一緒に作り、リビング等に貼っている。温度や光のまぶしさ等にも配慮し、快適な空間を心がけている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居間のテーブルにはコスモスの花を生け、観葉植物等も置かれていた。居間の壁には事業所のお便り「ひめやま新聞」が掲示されていた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>自分で移動できる方は自由に席を移り、他の入居者と時間を共に過ごしたり、又ソファに座り一人の時間を持ったりされている。移動が困難な方は職員が移動介助を行い穏やかに過ごせるよう支援している。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>ホームでベッドとチェストは用意している。他は自宅で使用されていた使い慣れた物を持参していただいている。家族さんが花や人形、家族写真等を持って来られ、それぞれ居室は個々の生活にあった場所となっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室には個々に日頃の様子アルバムの置き、ご家族等がいつでも見ることが出来るようにされている。ご家族の写真やテレビ・趣味の本や人形等、又、化粧品や洋服等があり、ご家族も居室環境作りに関わっておられるような様子も見られた。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>エレベーターや要所には手すりが設置されている。又浴槽には滑り止めマットを使用。ホーム内は段差もなく安全に過ごせる。居室のベッドも高さが入居者により合わせられるようになっている。居室の入り口には目線に合わせた高さで名前を大きく貼ったり、トイレも大きく表示したり、出来るだけ自立できるように工夫している。</p>	